

教育だより



油を差す

所長 櫻井裕輝

No. 74

令和6年7月発行

下北教育事務所

このたびの人事異動により、青森市立浪岡中学校から下北教育事務所へ赴任しました。教育職から教育事務所長への異動は、近年では異例のことです。自分としても全く想定していなかったというのが正直なところですが、本県が教育改革に取り組む上で、何かしらの意図があつての異動であることを信じ、使命感をもって本職を務めて参りたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。

まずは、私の略歴について皆さんにお知らせしたいと思います。私は、平成6年4月から、臨時講師1年(青森市立浪打中学校)、教諭11年(青森市立甲田中学校、同 佃中学校)、研究員2年(県総合学校教育センター)、教諭3年(青森市立横内中学校)、指導主事7年(青森市教委指導課、同 学務課)、教頭2年(青森市立甲田中学校)、主任指導主事3年(県教育庁教職員課)、校長1年(青森市立浪岡中学校)、現職と歩んで参りました。ちなみに担当教科は中学校技術です。御覧のとおり、学校と行政を行ったりきたりの人生を送っている最中です。形式上、辞職願いを3度書いており、転職を何度かしているような感覚があります。しかし、これにより多様な経験をし、実に多くのことを学ぶことができたと思います。そのような中で、新しい職場に赴任した際に必ずしていることとして、「油を差す」というのがあります。着任して早々に気付くのは、椅子のローラーや机の引き出しや様々な扉の開閉が渋かったり、金属が擦れる音がしていたりすることです。そういった物品の可動部分は、潤滑することによって設計どおりの性能を発揮するので、私は、それらが持つポテンシャルを100パーセント発揮させるべく、油を差すなどのメンテナンスを

行います。そうすると、ほとんどの製品は、油を差した後、動きがスムーズかつ金属音がしなくなり、気持ちよく仕事ができるようになるのです。また、直らない物については、速やかに修繕もしくは廃棄・交換とし、常に最適な職場環境となるよう心がけてきました。

私たちには、物品の可動部分が渋くなったり、金属が擦れる音がしたりしても、そのまま使い続けてしまう傾向があります。実は、物品に限らず、私たちの業務についても同じことがいえると思っています。学校も行政も、過去から引き継がれてきた業務の中には、当時のままの作業手順で行っているものがいくつか見受けられます。おそらく自分が担当する期間では改善に至らず、そのまま次の人に引き継ぐということが繰り返されてきたのではないのでしょうか。油が差されなかった物品と同じで、多少の不具合をはらんでいる業務は少なくないと感じています。

今、国も本県も、学校教育改革の取組を始めました。そもそも、改革が必要になったのは、これまでの学校教育に複数の不具合が発生しているからだと考えています。したがって、改革を進めるに当たっては、そういった不具合箇所「油を差す」が如く機能の回復を図るとともに、必要に応じて修繕・廃棄・交換を検討することも大切だろうと思っています。

このような思いをもって、管内の市町村教育委員会及び学校・園と連携しながら、本県の学校教育改革を推し進めて参りたいと考えておりますので、改めてよろしくお願いたします。そして、次世代のために改革に取り組む大人たちの姿を、下北の子供たちに見せていけたらと思っています。

令和6年度特別支援教育支援員等スキルアップ研修会

【期日】令和6年4月23日（火）【場所】むつ来さまい館

【趣旨】小・中学校において、特別支援学級又は通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対し、支援を行っている者（特別支援教育支援員）及び支援に携わる者等が、児童生徒の発達の段階や障がいの状況に対応した支援ができるよう、指導力の向上を目指すものである。

講義・演習

「特別支援教育の在り方と障がい特性の理解について」

講師：青森県総合学校教育センター
特別支援教育課
指導主事 高坂 正人 氏



変えるべきは子供の行動ではなく、教師の指導や支援

講義・演習では、疑似体験を通して参加者の皆様が障がいのある子供の気持ちに思いを寄せていました。指導する側が関わり方を変えることで、子供の行動が望ましいものになることを実感できたのではないのでしょうか。「その行動には必ず理由がある」という言

葉がとても印象的でした。また、よくない行動だけでなく、理想的な行動がとれたときの子供の状況を見取ることの大切さも分かりました。私たちの言葉が一つで、子供の笑顔と成長につながるはずですよ。

こんな学びがありました。
(参加者の声)

子供たちの思いを聞きながら、一緒に考えていくことの大切さを学びました。自分のこれまでの支援を振り返る機会になりました。

どんなことを記録に残すかが分かりました。子供の視点に立ち、担任の先生と連携して児童生徒に合った支援をしていきたいです。

高坂先生より、参考資料の紹介もありました。ぜひ、御活用ください。



※青森県総合学校教育センターのHPに掲載されています。

「特別支援学級・通級指導教室の授業づくりに役立つQ&A」

「Q&Aと併せて読んでほしい資料」

オンライン質問箱 ~おしえてSKJ~

THANK YOU

早速の質問・相談ありがとうございました！！

5月7日（火）から受付を始めています『オンライン質問箱~おしえてSKJ~』に早速の質問・相談がありました。先生方の日々の疑問や悩みを**すぐ聞ける事務所**でありたいという趣旨を御理解いただき、ありがとうございました。申込方法等については計画訪問の際にも周知しておりますが、あらためてお知らせします。たくさんの御利用をお待ちしております。

方法①QRコードから、Googleフォームで**必要事項**を入力・送信
方法②相談したい指導主事にメールで**必要事項**を送信

【必要事項】

- ①学校名
- ②申込者氏名
- ③質問・相談内容

Googleフォームでの申込みはこちらから

読み取る



クリック/タップ



令和6年度 下北教育事務所 教育課

TEL : 0175-22-8581 (内線番号は下記一覧)
 FAX : 0175-23-8609
 E-mail : E-SHIMOKITA@pref.aomori.lg.jp

職・氏名	○担当教科、分野・主な担当事業	職・氏名	○担当教科、分野・主な担当事業
教育課長 大島 忍  (内線300)	○教育課総括 ○学校・社会教育全般 ○学校の幸せ推進室 ・研修派遣	主任指導主事 工藤 貴史  (内線301)	○理科、生活 ○学校教育総括 ○教育課程 ○授業の充実 ・学校訪問 ・教育課題連絡会議 ・管内行事調整会議
主任社会教育主事 藤田 幸博  (内線301)	○生涯学習・社会教育総括 ○学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成 ・地域と学校とのパートナーシップ強化事業 ・学校・家庭・地域連携協働推進事業	指導主事 川島 学  (内線292)	○算数、数学 ○特別活動 ○キャリア教育 ○初任者研修 (赴任時研修、示範授業研修、特別活動研修、一般授業研修、まとめ研修) ・県立高校入学者選抜関係
指導主事 増山 雄宇  (内線294)	○社会、図画工作、美術、道徳 ○生徒指導 ○道徳教育 ・いじめ防止対策関連事業 ・不登校児童生徒支援関連事業 ・SC・SSW配置・派遣事業 ・小中学校道徳教育研究協議会	指導主事 竹林 千亜紀  (内線294)	○国語、音楽 ○特別支援教育 ○へき地・複式教育 ・特別支援巡回相談 ・地区就学相談・教育相談会 ・複式担任者研修会 ・「下北の教育」
指導主事 米沢 真輝  (内線292)	○外国語活動、外国語、総合的な学習の時間 ○研修の充実 ○国際化に対応する教育 ○幼稚園教育 ・臨時講師等研修会 ・「あおもりで働こう」小学校教員魅力向上事業 ・全国学力・学習状況調査 ・「教育だより」	社会教育主事 兼 指導主事 佐藤 和也  (内線292)	○体育、保健体育、技術・家庭 ○体育・健康教育 ○環境教育 ○情報教育 ○生涯教育、社会教育 ・中堅教諭等資質向上研修 ・冬季学校体育実技講習会 ・防災教育関係 ・オンライン質問箱 ～おしえてSKJ～

SSW (スクールソーシャルワーカー)

氏名	主担当校	氏名	主担当校	氏名	主担当校
小川 勉  (内線299)	関根小・中 近川中、奥内小 大湊小・中 東通小・中	伴 高助  (内線298)	田名部中、むつ中 第一田名部小 第二田名部小 第三田名部小 苫生小 大平小・中 大畑小・中 正津川小 脇野沢小・中	荒井 辰人  (内線298)	川内小・中 大間小・中 奥戸小 風間浦小・中 佐井小・中 牛滝小

「教育だより」リクエスト募集

今年度、リニューアルしてお届けする「教育だより」では、皆様からの御意見を基に内容の充実を図りたいと考えております。「○○の情報ほしい。」「もっと○○にしてくれたら、読みやすい!」など、リクエストを募集します。ちょっとしたことでも構いません。ぜひ御意見をお聞かせください。

QRコードを
読み込む



データ版を御覧の方は、
下のボタンをクリック又は
タッチ!

